



学校を開き、生徒の未来を拓く

□ チャット GPT

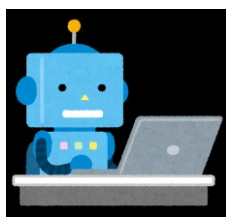
ドラえもののひみつ道具には、魅力的なものがたくさんあります。そんなひみつ道具の一つに「みちび機」があります。悩みごとを口にしながらボタンを押すと、出てくるおみくじのお告げに従えば、何事もうまくいく…という人生お助けアイテム？ それとも人生をつまらなくするアイテム？です。

最近よくニュースで取り上げられる「チャット GPT」をご存じかと思います。質問を入力すると人工知能 (AI) が、まるで会話をするように答えてくれるソフトです。人間が書いたような自然な文章を作成できることが特徴です。アメリカの企業「オープン AI」が開発し、昨年 11 月に公開しました。すると、わずか 2 カ月で利用者が 1 億人に到達したそうです。「チャット GPT」は LINE でも「AI チャットくん」として 3 月 2 日に公開され、3 日間で 20 万人が登録したようです。自分が知りたいことを大した苦労もすることなく、おおよそ正しい一般論をすぐに示してくれる「チャット GPT」は、忙しい私たち現代人には便利なものかもしれません…

4 月 10 日に、そのオープン AI の CEO が来日して、首相と面談をしたり政党の会合に出席したりしました。その会で CEO は、「日本が AI の利活用を通じて世界で大きな存在感とリーダーシップを発揮してほしい」と話し、①日本関連の学習データのウェイト引き上げ ②政府の公開データなどの分析提供等 7 つの提案を行ったそうです。

それを受けて経済産業大臣は、翌 11 日に記者会見で次のような発言をしました。「機密情報の取り扱いなどの懸念点が解消された場合には、国家公務員の業務負担軽減のために活用する可能性を追求していきたい。」活用例の具体として国会答弁をあげて「いくつか試してみたが、国会答弁のような形にはできあがってくるので、最新のデータに基づいて作ってもらえればかなり負担が軽減される可能性はある。」

憲法第 41 条に「国会は、国権の最高機関であって、国の唯一の立法機関である。」と記されています。国会が国権の最高機関であるというのは、国会が主権者である国民の意思を最も直接に代表するため、国の全ての機関のうちで最も大切であるという意味です。憲法に記されている国会の本質を考えると、国民の意思を代弁する立場の国会議員が自分の頭で考えず、答弁書を官僚が作成すること自体、そもそもいかなものだろうと考えます。



テクノロジーの発展によって、人が自分の頭で考えることをやめ、AI にその判断を任す世の中が、もう既に忍び寄っています。私は、個人的には、この風潮に恐怖を覚えます。時間がかかり、失敗もするのかもしれませんが、「自ら求め 考え 判断し 行動する」ことを私は大切に生きていきたいです。

□ 【お知らせ】制服登下校について

巢南中学校では、日常から身だしなみを整えて生活することを大切にしたいと考えています。そこで、登下校、授業は基本的には制服を着用することとしています。

雨天時については、登下校は個人の判断で体操服を着用することも認めています。ただし、授業は制服を着用しますので、サブバック等に入れて持参してください。

なお、暑い時期になりましたら、洗濯等のことも考慮し登下校や授業での体操服の着用も、生徒会と合意形成を図りながら認めていきます。時期については、改めてお知らせします。